夫婦修業
meotoShugyo
ツンデレ幼馴染が
溺愛になるまでの5日間

本作品に関する一切の著作権は制作者に帰属します。
本作品の**無断転載・複製・販売**
インターネット上での**無断アップロード・スクリーンショットの共有**
本作品を使用した**AI学習・データ収集・二次利用**
これらはすべて**禁止**とさせていただきます。
また、発覚した場合は法的措置を含めた対応を取らせていただくことがあります。
どうかご理解とご協力を、よろしくお願いいたします！

はぁ？！
同棲!?
入江輝彦（いりえてるひこ）
24歳
二羽紗夜（ふたばさよ）
22歳
2人は幼馴染であり
結婚が決まっている
許嫁である

そうだ
いずれ結婚するんだし遅らせる必要もないだろう
なぁ？紗夜
私はいつでも……
輝彦さんが嫌じゃなければ
じぃちゃんまたそうやって勢いで勝手に……

大体、お前たち
ギクッ
昔は仲が良かったじゃないか
なんで今はそんなにぎこちないんだ
輝彦も紗夜も

……別に
いいだろ
そして
私はここ2年ほど
輝彦さんから
距離を置かれて
います……
はぁ～……
スタッ
良く
ありません
ばあちゃん!?
紗夜
輝彦
いいですか
夫婦となるには
そんな状態では
いけません
あなた達に
修業を課します
修業…？
いつの時代だよ
これを
読みなさい

こ、これって…

それは
かつて二羽家で
行われていた
閨事の指南書です
本来は
元服を終え
婚儀を控えていた
夫婦へ
修業として課され
子孫繁栄に
役立ててきました

おい！
ただの昔の
エロ本じゃねぇか
紗夜もそんな
まじまじと
見るなっ
はいぃ…
エロ本では
ありません
この本から
学ぶべきことは
他にもあります
身体だけで
なく心も
通わせること
今のあなた達に
最も必要な
ことです

心を……
通わせる
昔みたいに
また一緒に
過ごせたら
もう
大丈夫だぞ
紗夜
やりたいです
輝彦さん
夫婦修業して
みませんか？
輝彦さんが
昔と変わったとは
思ってないです
でも
昔より
距離を取られて
いるのは私にも
分かって
いるんです……
私に……
何か至らぬ点が
ありましたか
……俺は
そういう
訳じゃ……
お前が
やりたいなら
……わかったよ

そうと決まれば
私達は
しばらく
こちらの家で
過ごします
その間
家を空けて
おきますから
2人で好きに
使いなさい
あれ
そうなの？
言い出すことが
全部突然だな……
本当に
明日から
大丈夫なのか？
はいっ
一緒に修業
頑張りましょう！

紗夜ちゃん
お祭りに張り切って
浴衣着て行ったら
クラスのお友達に
追いかけ回されたのが
怖かったみたいで
輝彦くんが
止めてくれた
みたいだけど
もうずっと
この調子なの
ほらもう
帰るぞー
イヤ
イヤ
ぎゅっ
すっかり
懐いちゃって～
なでなで
後で俺が
家まで送るよ
落ち着くまで
待ってやるから
ぽっ
な？

許嫁だなんてっ
父さんと母さんを
止めろよ…!!
なんでお前は
止めなかった
んだよッ!
いいのかよ!!
それで!!
えっ
輝彦さ…
まっ…
まって
どうして
輝彦
紗夜

紗夜！
はっ
……やっぱり
やめておくか？
ブンっ
い、いえっ
そうか
じゃあ
服……
脱がすからな
おばあ様に聞いたところ
二羽家で
かつて行われていた
修業とは
数日かけて
心と体を触れ合い
深い結びを作る
性行為のことでした
子孫繁栄のために
かつては
必要な閨事の
指南として
行われていたそうです

初日は
ふたりの衣服を脱がし
裸のまま向かい合い
抱擁を交わします
シュル
あの…
輝彦さんの服は
紗夜がお手伝い
しても良い
でしょうか……
まだ性的な行為はせず
抱擁の後は
そばで眠ります

っ……
あぁ……
こんなのさっさと
終わらせるぞ
はいっ
……
そんなガン見
することないだろ
はい…

……
嫌じゃないのか
俺が触れても

嫌じゃ
ありません
ぎゅっ
輝彦さんと
一緒にいると
心臓がうるさく
なってしまって
……
でも
うるさい心臓ごと
輝彦さんが
抱きしめてくれて
それが
すごく嬉しくて
幸せだったんです
昔からずっと

輝彦さんは
嫌じゃ……
ないですか？
……
あぁ…
嫌じゃ
ないよ
ふふっ
うれしいです
久しぶりに
抱っこ
できましたね
ぎゅうう

二日目
今夜は
口づけを交わします
そして、身体への
軽いスキンシップを
行うことも
許されます

ただし
性器や
敏感な部分には
まだ触れることが
できません

い……
いいかっ

さっさと
するぞ

キスして
もう寝るんだ

は、はぃ
……

そして
スキンシップ後は
昨夜と同じく
抱擁を交わし
眠ります

小さい頃から
抱っこは
してくれたけど
キスは
はじめて
目
つぶらないのか

ぷはっ
……
このままじゃ
身体
冷やすぞ
今
布団かけて
やる……
紗夜？
ポロッ
あっ

キス……しちゃいました
輝彦さんと……
夢みたいに幸せ……
はぁ……
幸せって…
お前は本当にそれでいいのかよ……
グッ
こんなにたくさん触れることができて……
昨夜も今日も
フラ～
紗夜！おいっ！
ガシッ
おい、鼻血が…！
大丈夫か!?

ピタッ
い、許嫁!?
えっ…!?
まだ16でしょ!?
そんなのアリ!?
紗夜だって
高校のうちに
彼氏欲しいって
言ってたじゃん!
彼氏?
紗夜が?
そ、それは……
だって……
輝彦さんと
ご家族も
望んでいる
って……
で、でもさ
良い感じの人
いたんでしょ…?
ど。
本当に
いいの?

三日目
今日は昨夜よりも
深い口づけと
軽い愛撫が
許されます
紗夜
はい
輝彦さん
どうして
そんなに
愛おしそうな目で
いつも
俺を見るんだ
えっと……
どうしてと
言われましても
……
お前はっ
家族が
望んでいたから
俺の許嫁に
なったんだろ
困っていた
じゃないか
高校の時
学校で
話している
ところを
聞いた……っ
それは……

元々
私が輝彦さんに
告白をする
つもりだったんですよ
は…？
告白って……
友達には
前から
輝彦さんのことを
相談していて
まさか許嫁の
お相手が
同じ人だと
思わなかった
みたいで
お相手が分かった時
すごく喜んで
くれました

順番は
変わってしまい
ましたけど……
紗夜が好きなのは
今も昔も
輝彦さん一人です
ちゅ
輝彦さんは
私と夫婦に
なること……
すぃ…
嫌じゃ
なかった
ですか……？
ぜゅっ
ハァハァ

あぁ…
俺もずっと
お前が
好きだっ
紗夜が
ずっと
好きだよ
ざゅっ
ァんッ…
一番
大切なんだ
くぃっ

ぷはっ
はぁっ
は、
ん、
つ♡
な、
ぢゅっ
んぅ…
っ
あっ
ぢゅ…っ
はむっ
ん…♡
ちゅっ
ちゅっ
あ♡
くちゅ♡
はぁっ
はっ
ムクムク…
はぁ…
……
まだ性器への
強い刺激は
我慢しなければ
いけません
はー…
あと二日も
我慢だなんて
生殺しだな
ビクッ
しょうがないだろ
輝彦さん
その……
下に……

四日目
今日から
性器への愛撫が
許されます
んっ
ひっ
あっ
あっ
ちゅっ
ちろ
だめっ
ん
くちゅ
あんっ
はっ
あっ
でも……
絶頂に達することは
控えなければ
いけません
ジト…
は！
ふーっ
くにくに
そこっ
やっ
絶頂を抑えることで
明日の行為が
より深く
感じるようになるそうです……
だめ
あっ
くちゅっ
くちゅ
ぐにぐにっ

ちゅぽん♥
嫌？
本当に？
ペロォ
俺は
紗夜に
触られたら
うれしいよ
んっ
ちゅ♥
すり～～
触って
くれるか？
ビクッ

ちゅる
ぢゅるる
ちゅ
ちゅ
ちゅ

まずい
このままだと出る……ッ
紗夜ッ
一回…離してくれ…っ
ペロ
ちろ
ニコッ
紗夜ッ!!
カプッ
ちゅっ
んんっ
こら
ひゃんっ
ぢゅる
ペロッ
はぁ
はっ
ふっ
今日はまだイっちゃだめだ
明日まで我慢だろ
……

そして
五日目
ついに
今夜は性交が
許されます
昨夜までと
同じように
触れあいながら
子を成すために
膣内への
射精を行います

スリ〜〜〜ッ
紗夜
確認
なんだが
今日ここで
お前の
中に出して
子ども
出来るかも
しれない

あぁ……
全部……
受け止めてくれ
ピクッ
しこ
しこ

……本当に
いいんだな？
……はい
紗夜に
ぜんぶ
輝彦さんを
ください
おぉっ
はっ

くちゅ
ぐっ
はっ
……
息を止めるな
力を抜け……
おっ
ブチッ
ミチッ
はっ、い……
プルプル
みちっ
ぐぐぐ
大丈夫だ
もう少しだから
ぎゅっ
俺の背中に
掴んでていい

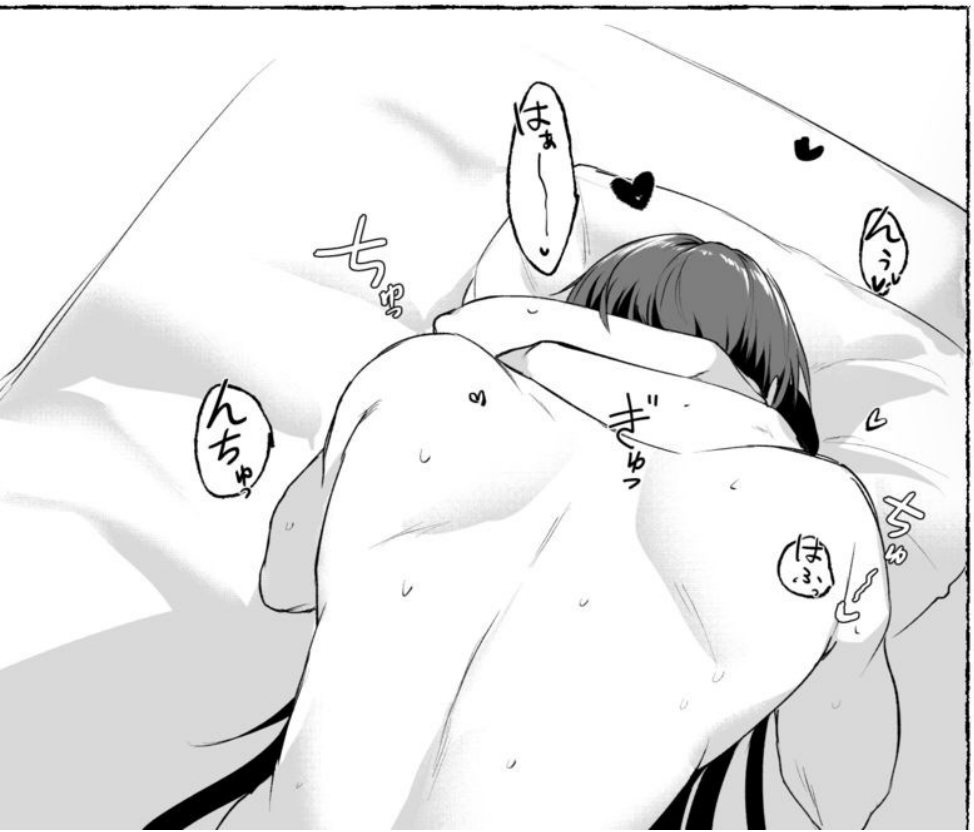
苦しくないか？
はいぃ～…
きゅ～ん♥
はあっ…
……全部入ったよ
ちゅっ
慣れるまでもう少しこのまま堪えてくれ
はっ
はふ、
ぢゅる
キスいっぱいしてくれてうれしい…
ぎゅっ
ビキッ

きゅうっ♡
うおっ
……っ
お前のために
慣らしてるんだぞ？
だ、だって
輝彦さんに
良くなって
ほしくて……
ひゃっ
う、うごいた……

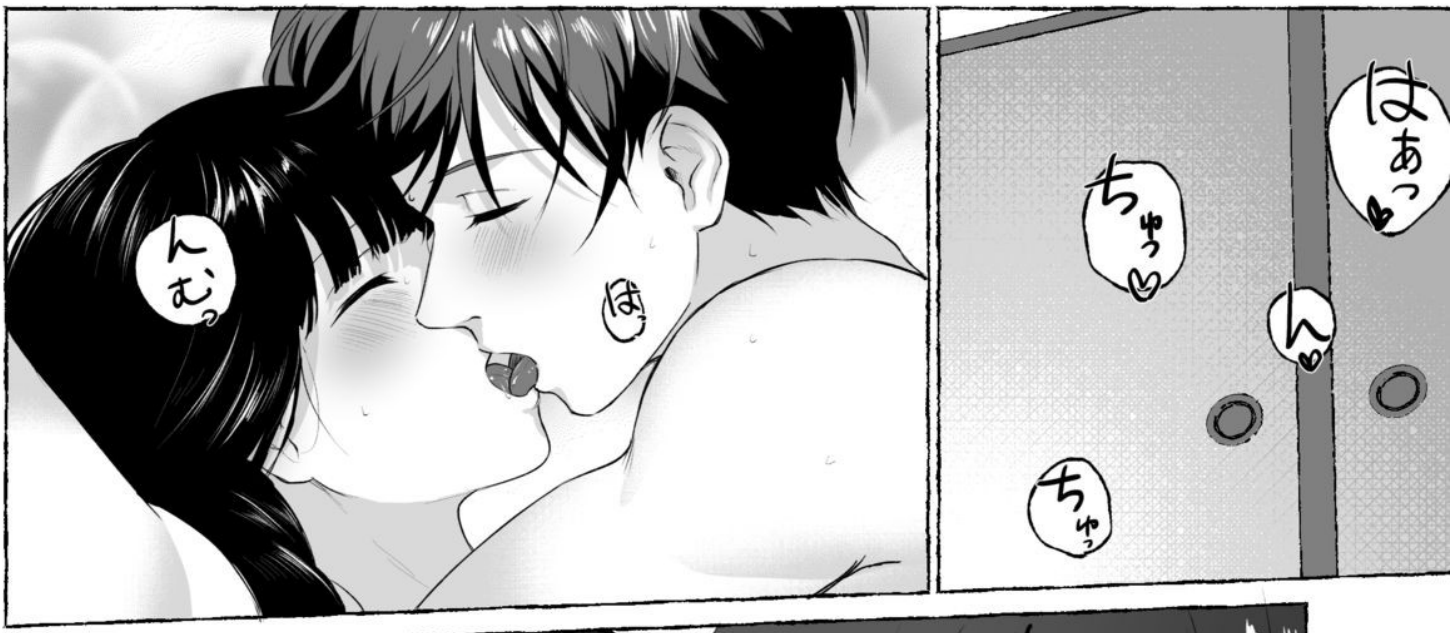
ゆっくり
動くから
痛かったり
無理だったら
すぐに言えよ
ん…っ
中…
輝彦さんのが
わかる……
優しく
動いて
くれてる…
あっ
あぁっ
あついのが
うごいてる…
あっ

はぁ
あっ
あんっ
パンッ
パンッ
ぐちゅ
あ……
ちょっと
くるし……っ
ぐっ
はっ
ふーっ
あぁっ
うっんっ
ぱんっ
ぐちゅ
ぱんっ
ぐちゅ
でも
なんだか
きもちいい…♡
んぁっ
ふっ
あぁっ
ふーっ
ぐっ
はぁっ
ぶるぶる♡

さよっ…
一回出すぞ……っ
あっ
だめっ
耐えてくれ…ッ
あっ
そこっ
イッちゃうっ
ぴゅるるるっ
あっ
んーっ


はぁ…
ちゅ
んうん
ぎゅっ
ちゅ
はふ
んちゅっ

セクッ
ゼクゼクゼクッ
キュン
キュン



……わるい
押さえが
利かなくて

ふふっ
嬉しかったです

……
もう少し
休んだら
続けていいか？

はい

ちゅぽん
あっ
ヒロイ…
くるっ
ぐりゅ
んっ
おっんッ
ぱんっ
ぱん
ぱんっ
こらっ
逃げるなっ
ぐぐっ
やっ
あっ
ガシッ

紗夜
お前はっ
ほんとうに
かわいいなっ
チロッ
ん…
ふ…
お前の全部
食べたい
くらいだ
カプッ
あっ
みみだめっ
ぐちゅ
ズン
ズッ
ぬちゃ
ズッ
ぬぷっ
ズッ
あ"
ぐちゅ
ズン
ズッ
ぬぷっ
ズッ
ぬちゃ
ズッ
ぬぷっ
ズッ
ぬちゃ
ズッ
ぬぷっ
ズッ
ぬちゃ

紗夜！
ふわっ
一人で勝手に行くな！
俺もついて行くって言っただろ
食材の買い出しだけですし
家でゆっくりしてください
……俺が一緒にいちゃダメなのか
いえ！
そういうわけでは
じゃあ行くぞ

俺たち
これからは
もっと話そう
ぎゅっ
もっと紗夜の
考えていることを
理解したいんだ

それなら
ひとつだけ
いいですか……？
あぁ
すりっ
紗夜は……
子どもが
2人以上
欲しいです
ぎゅう♥

おわり

キャラプロット

ちいこい期

てるひこ
輝彦
(24)

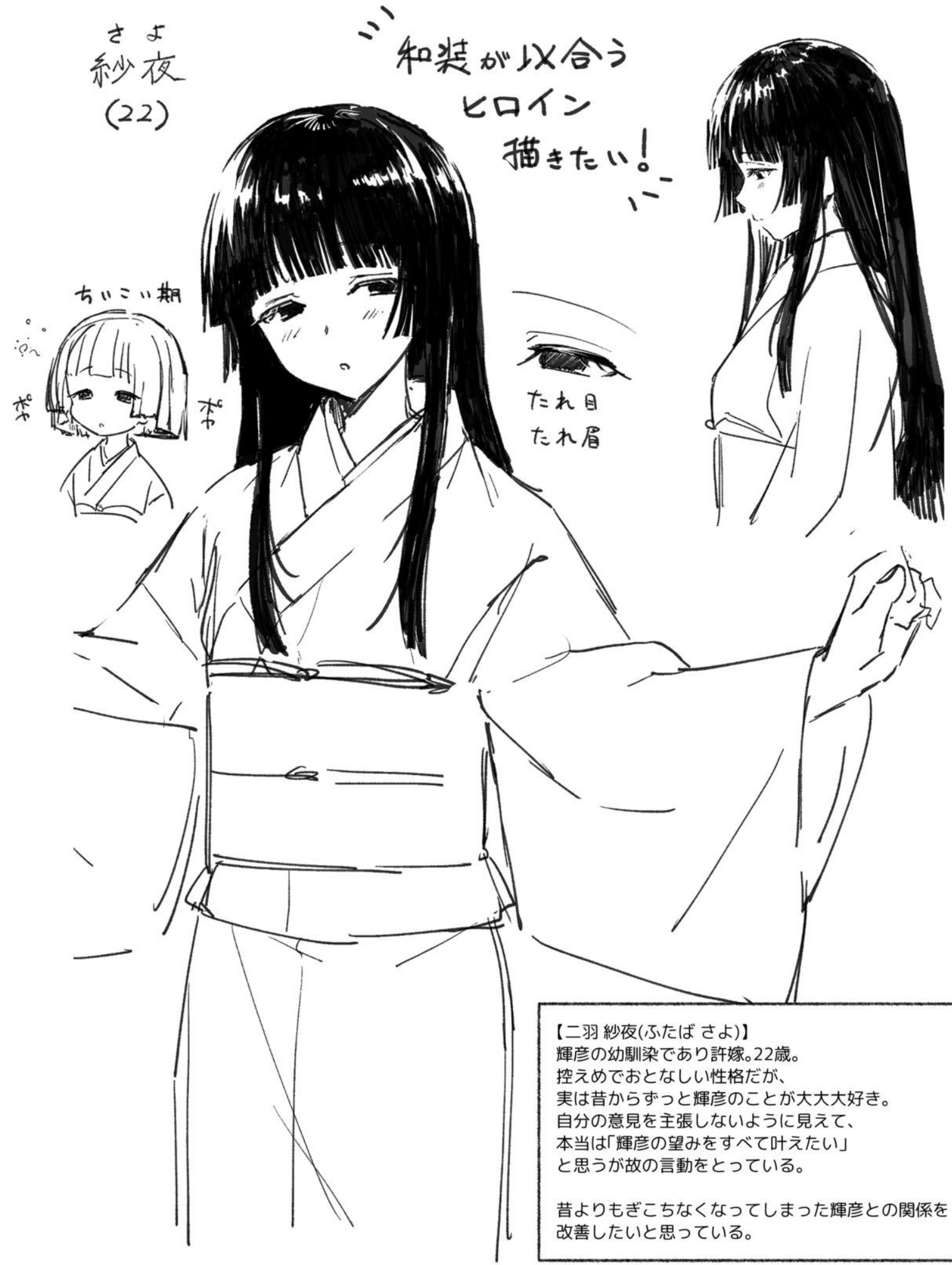
つり目
つり眉

なんぼあってもいい
ツンデレ幼なじみ

【入江 輝彦(いりえ てるひこ)】
紗夜の幼馴染であり、許嫁。24歳。
小さい頃は彼女を守るようにそばにいて、
誰よりも優しく頼れる存在だった。
しかし婚約が決まった頃から、なぜかそっけなく、
冷たい態度をとるように。

それでもふいに見せる気づかいには
幼い頃の面影を残す優しさはある。

キャラプロット



【二羽 紗夜(ふたば さよ)】
輝彦の幼馴染であり許嫁。22歳。
控えめでおとなしい性格だが、
実は昔からずっと輝彦のことが大大大好き。
自分の意見を主張しないように見えて、
本当は「輝彦の望みをすべて叶えたい」
と思うが故の言動をとっている。

昔よりもぎこちなくなってしまった輝彦との関係を
改善したいと思っている。

あとがき

お読みいただきありがとうございます！
安本丹(あんぽんたん)です！

お、終わった…！2作目を無事完成させることが出来ました…！

前作を描いている時はとにかく完成させることが目標だったので
手を動かし続けて駆け抜けた記憶なのですが、今回は話の大まかな流れとかを考えて
ページ数を割り振って作るやり方で頑張ってみました！
前回よりは漫画っぽい話が出来ていたら嬉しいです。

今回は幼馴染で許嫁というこの世になんぼあってもいい設定でお話を作ってみました。
元々は因習村設定でもっとアホエロな展開も考えていたのですが、
アホエロでヒーローを魅力的に描くのが難しく感じたことと、
他の女との絡みの要素を入れたくなかったので、
ゆるいスローセックスをテーマにそういう儀式っぽく変えてみました。

とはいえ、難しい話を描いているわけではないのに、お話作りは難しかったです。
前回よりも作業に慣れが出てきたような手応えは得ましたが
根本的な漫画作りの課題は絶えないです……！

また、今回のヒロインは黒髪ぱっつん姫カットのデザインにしまして、
これが中々描いてて楽しかったです。
ヒロインを描くのが楽しくて地味に髪型のアレンジとかも入れ込んだりしました。
和装が似合う女の子を描きたいな、と思い立って描いたら気に入ってしまい
そのままデザイン採用しています。
もちろんヒーローの輝彦もツンデレの似合う顔にできて満足しております。
2人とも黒髪にすることも考えていたのですが、画面が質素になってしまいそうだなと
想い輝彦はネイビーブルーを薄めたような髪をイメージして少し明るくしています。

次回作は男３女１の逆ハーレムものを描きたいなぁとぼんやり考え中……

もっと数をこなしつつ良いIf漫画が描けるようにこれからも頑張ります！

ここまで読んでくださって、本当にありがとうございます！

少しでも良いと思っていただけたら、
☆評価やレビューをもらえると、とてもとても嬉しいです。
これからの制作を続ける大きな励みにします。

「ここが好きだったよ！」みたいな短い感想でも大歓迎です！